

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									
Q-1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1 1 暗騒音レベル									
2 1 開口部遮音性能									
2 2 界壁遮音性能									
3 1 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 1 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 1 室温設定									
2 1 機械空調・遠隔制御性									
3 1 外皮性能									
4 1 ゾーン別制御性									
5 1 漏洩・隙漏対策									
6 1 個別制御									
7 1 時間・空間・気象に対する対応									
8 1 監視システム									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 1 昼光率									
2 1 方位別開口									
3 1 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 1 照明器具のグレア									
2 1 昼光制御									
3.3 照度									
1 1 照度									
2 1 照度均斉性									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 1 化学物質汚染									
2 1 放射能汚染									
3 1 大気汚染									
4 1 放射能対策									
4.2 換気									
1 1 換気量									
2 1 自然換気性能									
3 1 取り入れ外気への配慮									
4 1 給気計画									
4.3 運用管理									
1 1 CO ₂ の監視									
2 1 喫煙の制御									
全館禁煙を計画している									
Q-2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 1 広さ・収納性									
2 1 高度情報通信設備対応									
3 1 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 1 広さ感・景観									
2 1 リフレッシュスペース									
3 1 内装計画									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
1 1 耐震性									
2 1 免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数									
1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
2 1 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									
3 1 配管・配線材の更新必要間隔									
4 1 主要設備機器の更新必要間隔									
2.3 適切な更新									
1 1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2 1 配管・配線材の更新									
3 1 主要設備機器の更新									
2.4 信頼性									
1 1 空調・換気設備									
2 1 給排水・衛生設備									
3 1 電気設備									
4 1 機械・配管支持方法									
5 1 通信・情報設備									
療養室は12.81㎡,14.52㎡,15.40㎡の3タイプで構成									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理						
配慮項目	重点評価項目			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性				2.8	0.29	2.7	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり								
1 階高のゆとり				2.4	0.31	2.4	0.50	
2 空間の形状・自由さ				2.0	0.60	2.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.3 設備の更新性				3.0	0.31	3.0	0.50	
1 空調配管の更新性				3.0	0.38	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.17	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.11	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-	
				3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出		G		2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G		3.0	0.20	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	0.40	-	-	3.2
LR-1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制	W			開口部はLowEガラスを採用し、開口面積を極力抑えた	4.0	0.30	-	4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		3.0	0.50	-	
3 設備システムの高効率化	W			電気ヒートポンプエアコン、自動水栓、節水型シャワー等の採用。	4.0	0.30	-	4.0
4 効率的運用					3.0	0.20	-	3.0
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	
LR-2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護					3.0	0.15	-	3.0
1.1 節水	W				3.0	0.60	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	
2 低環境負荷材					3.0	0.85	-	3.0
2.1 資源の再利用効率					3.0	0.35	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				3.0	0.33	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.04	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.0	0.18	-	
1 消火剤	W				3.0	0.33	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	
LR-3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	3.0
2.1 騒音					3.0	0.33	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10	-	3.0
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	
4 光害の抑制					3.0	0.05	-	3.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		2.0	0.30	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.40	-	3.6
6.1 雨水処理負荷抑制	W			浸透桝、浸透トレンチを使用し雨水流出を抑制している	5.0	0.30	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	

■ LR-1 用途別得点表		病院	-	-	-	面積按分 総合スコア
		4,557 m2	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	4.0	-	-	-	4.0
3	設備システムの高効率化	4.0	-	-	-	4
3.2	換気設備					-
3.3	照明設備					-
3.4	給湯設備					-
3.5	昇降機設備					-